

Julabo Case Study

JULABO PRESTO® A40

20Lのガラス反応器で
+170°Cから+100°Cに冷却



目的

本ケーススタディーは、20Lの真空断熱ガラス反応器で、ユラボ PRESTO A40の冷却運転テストをしました。A40と20Lのガラス反応器は2.0mのメタルチューブで接続されています。A40は+170°Cから+100°Cへ冷却運転するようにプログラムされています。

テスト条件

ユラボ装置	PRESTO A40
冷却能力	+20°C 1.2kW
	0°C 0.9kW
	-20°C 0.6kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	無
吐出圧	0.40bar
循環液	ユラボサーマルHL40
反応器	三重管の20Lガラス反応器 (Asahi)
	18LのサーマルHL40を充填
ジャケット容量	7L
温度制御	外部温度制御 (ICC)

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電源	230V/50Hz



テスト結果

次ページグラフ参照: A40はアンダーシュートすることなく1時間5分で+170°Cから+100°Cへ冷却運転する事ができました。

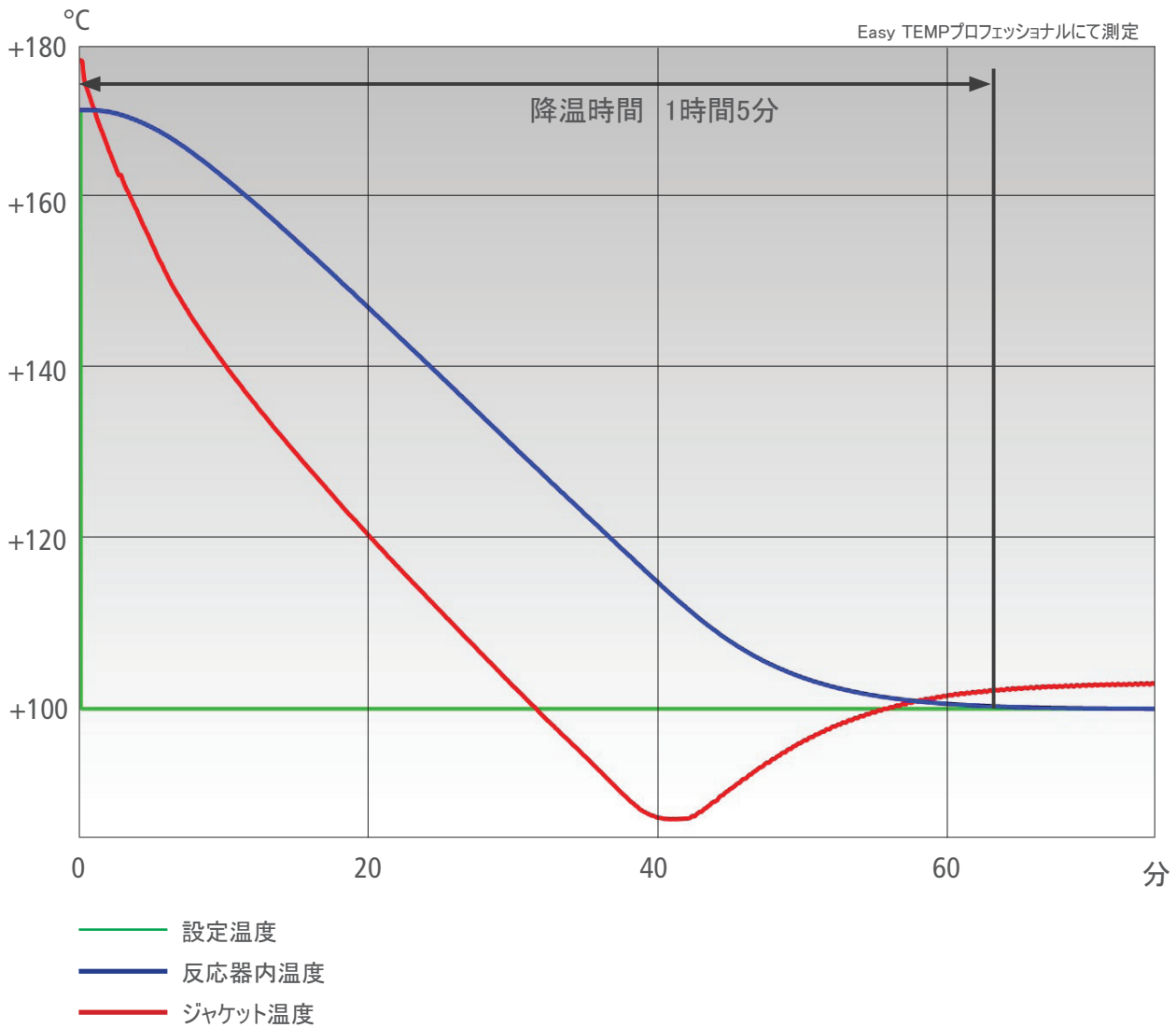
情報

PTFEコーティングされたPt100温度センサーが使用可能です。

次のページにも情報が載っています。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



情報
 ポンプ圧力を調整する為のオプション画面があります。お客様にてポンプ圧力を設定する事が可能です。

情報
 PRESTOの全ての機能をイーサーネットインターフェースにて操作する事が可能です。

JULABO GmbH
 Eisenbahnstraße 45
 77960 Seelbach / Germany
 Tel. +49 (0) 7823 51-0